

未来の子供達のために 大切な文化をゼロにしたくない。

01

祭とは？

コロナによって文字通り世界が変わりました。オリンピックをはじめ、様々な行事や事柄が、そのあり方と必要性の本質を問われ、今に適した様式に、形を変えて順応していくことが求められています。

私たち能登町の祭という文化も、同じではないでしょうか。

祭は、『神様への感謝』を目的に、地域の心を一つにする力があります。

コロナ禍でとても苦しい今、祭はその本来の目的を遂げる、必要で大切な行いではないでしょうか？

02

コロナ禍の祭

従来のような、人が集まり騒ぐような祭が必要だとは考えておりません。

コロナ対策は必要不可欠であることはもちろん、規模や内容の縮小を柔軟に検討し、今の時代に適応した祭の形を確立する。そのために考え、対話をし、大切なことを守るための努力をしたいと思っています。

03

やりたい事

祭がなくなるということは、土地の誇りを失うことになると思っています。

祭がない能登町に、帰って来たいと思うのでしょうか。家族の絆よりも強く、生まれ育った町を誇りに思い、故郷とずっと繋がっていけるものが祭だと思います。コロナは続きます。今年を諦めてゼロにしてしまうと、私たちは完全に祭を失ってしまうと危惧しています。来年こそは…と、希望を抱くのではなく、今を受け入れて、どんなに縮小しようとも、柔軟な考えと、努力で、この文化を絶やすことだけは絶対に避けたいと思っています。

コロナ禍の今だから、 祭のあり方を考えたい。

グラデーション思考

開催の有無を極論で決定するのではなく、
今はなにができるか？をグラデーション思考で
どのように薄め・濃くしていくかを検討したい。

中止

実行

(例) 令和3年度はここ

10年後はここ

■ 検討内容 (例)

- ・ PCR 検査の実施
- ・ 日程を1日に集約
- ・ キリコの運行方法
- ・ よばれの自粛
- ・ 屋外での飲酒禁止 など

コロナ禍において、
従来通りの祭りの形式は不可能
県内の感染者数の状況、奥能登の受入
病棟の状況を確認しながら、いくつか
のプランを検討していくことも可能な
のではないのでしょうか？

コロナに、私たちの心まで壊されたくない。

コロナに、私たちの故郷まで壊されたくない。

だからこそ、コロナ禍における祭の形を考えたい。

そのための努力と、対話をなんとしても行いたいと思っています。

私たちはその思いを持って、今、行動しています。

この度は貴重な時間をいただき、誠にありがとうございます。
また、私達の思いにご賛同いただけますと幸いです。